平成１６年９月３０日

従業員各位

株式会社　徳・株式会社　傳六
株式会社　傳七・有限会社　和公
代表取締役　鷺岡和徳

前略

今月も業務に専心いただきお疲れ様でした。心より御礼申し上げます。

さて、大変過ごしやすい季節になってまいりました。食材もいろいろなものが出てきて私たち飲食店がもっともいい料理を提供できる時期であります。私は自分の店で料理を作らないせいか自宅でよく料理をします。若いころ（今も若いですが）調理場に立っていた杵柄をいかしてさまざまなものを作ります。料理の本も参考にしています。そうすることでいつまでも料理に対する興味や研究心を怠らないようにしています。私たちの作る料理もほとんどのお客様は概ね、「おいしいと」いっていただけますが、人の趣向が多様化している現在、老若男女すべての方の口に合う味付け、献立を作るということが大変難しくなっています。自社アンケートをすべての基準にしながらも最終的には私自身、自分の舌を信用し、自店の味の基準を決定しようと思っています。そのためにはいろいろな店を雑誌等で研究したりや実際に立ち寄って分析したりもします。

「ウチの料理は分かってるから･･･」「ウチの店の事はわかっているから」とならないよう私自身も日々精進しなければならないと考えています。
料理の入口は「食材」。この食材の仕入業者と社長はできるだけ多く話すようにしています。そして自店の料理をできるだけ食べるようにしています。そして食べる事が大好きであろうとしています。料理店の社長の責務としてこの三つを忘れないようにしています。

気候も落ち着き、葬儀料理の数は少なくなるとは思いますが、冬場の忙しくなるときの供えを今からご準備ください。
「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

来月も一緒にがんばりましょう。

草々